

令和6年度 第47回千葉県中学校新人体育大会 柔道大会要項

- 趣 旨 千葉県中学校教育の一環として生徒に広くスポーツ実戦の機会を与え、技能の向上と心身の健全な育成を図るとともに、生徒相互の親睦を図る。
- 主 催 千葉県教育委員会、東金市教育委員会、千葉市教育委員会
(公財) 千葉県スポーツ協会、千葉県小中学校体育連盟
- 主 管 千葉県小中学校体育連盟柔道専門部
- 後 援 千葉県中学校長会 東金市中学校長会 千葉市中学校長会 千葉県柔道連盟
毎日新聞社千葉支局 読売新聞社千葉支局 朝日新聞社千葉総局
千葉日報社 NHK 千葉放送局
- 期 日 令和6年 10月26日(土)、11月30日(土)

10月26日(土) 個人戦

開 館	7時30分	
受付・計量	7時30分～8時30分	スポーツ文化センター(アリーナ)
審判・監督会議	8時30分～8時50分	スポーツ文化センター(1F会議室)
開 会 式	9時00分～9時10分	スポーツ文化センター(アリーナ)
試合開始	9時20分～14時30分	スポーツ文化センター(アリーナ)
閉 会 式	14時40分～15時00分	スポーツ文化センター(アリーナ)
閉 館	17時00分	

11月30日(土) 団体戦

開 館	8時30分	
受付・計量	8時30分～9時30分	県武道館第1道場
審判・監督会議	9時40分～10時00分	県武道館第1道場
開 会 式	10時05分～10時20分	県武道館第1道場
試合開始	10時30分～16時00分	県武道館第1道場
閉 会 式	16時10分～16時20分	県武道館第1道場
閉 館	17時00分	

※ 受付は両日とも団体単位で行う。

10月26日(土)は個人戦のみ受付を行う。11月30日(土)は団体戦の受付を行う。

※ 10月26日(土)は個人戦のみ計量を行う。11月30日(土)は団体戦の計量を行う。

6. 会 場

10月26日(土) 城西国際大学千葉東金キャンパス 千葉県東金市求名1

11月30日(土) 千葉県武道館 千葉県千葉市稲毛区天台町323

7. 参加資格

- (1) 学校教育法による中学1・2年生で、県内の公私立中学校に在籍している者。
- (2) 原則として小中学校体育連盟各支部が主催する予選を通過した者。
- (3) 本年度、学校医の検診時に於いて異常なしと判断され、その後の活動状況から大会出場に差し支えないと顧問が判断し、校長が出場許可を与えた者。
- (4) 大会に出場することに保護者が同意した者。
- (5) 参加する中学生の所属する校長・教員・部活動指導員が引率するものとする。
- (6) 参加者は千葉県小中学校体育連盟加盟校に在籍し、校長及び各支部体育連盟会長が参加を認めた1校単位で編成されたチームとする。
- (7) 年齢が平成22年(2010年)4月2日以降に生まれた生徒に限る。
- (8) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、千葉県小中学校体育連盟を通して、(財)日本中学校体育連盟に申し出なければならない。
- (9) 参加資格の特例
 - ①学校教育法134条の各種学校に在籍もしくは地域スポーツ団体等(地域クラブ活動)に所属し、各支部の予選大会に参加し、千葉県中学校新人体育大会参加資格を得た者とする。
 - ②拠点校部活動の大会参加については千葉県小中学校体育連盟「拠点校部活動参加規定」により、参加を認める。
 - ③参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ア 千葉県新人体育大会の参加を認める条件
 - a 千葉県小中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - b 参加希望する学校にあっては、学齢・修業年限が一致していること。連携校との生徒による混成は認めない。
 - c 各学校にあたっては、活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある教員・部活動指導員・外部指導者(コーチ)の指導者のもとに適切に行われており、運営が適切であること。
 - イ 千葉県新人体育大会に参加した場合に守るべき条件
 - a 千葉県小中学校体育連盟大会要項及び規則を遵守するとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - b 大会参加にあたっては、万一事故の発生に備え、傷害保険等に加入するなど万全の事故対策を立てておくこと。
 - c 大会に参加する経費は、必要に応じて応分の負担をすること。
 - ④地域クラブ活動に所属する中学生
 - ア 地域クラブ活動に所属し、千葉県小中学校体育連盟各支部の予選会または各種目専門部により定められた予選会に参加を認められた生徒であること。
 - イ 千葉県中学校新人体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
 - a 千葉県中学校新人体育大会の参加を認める条件
 - (a) 千葉県小中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること
 - (b) 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
 - (c) 地域クラブ活動の活動にあっては日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者のもとに、適切に行われていること。
【学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン】
(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
 - (d) 千葉県小中学校体育連盟に参加認定(登録)されること。
○当該競技を管轄する千葉県の競技団体(協会・連盟)へ登録されており、千葉県または支部の小中学校体育連盟に参加認定されていること。
※市町村の取組により設置された地域クラブ活動については参加認定(登録)の必要はない。
○千葉県小中学校体育連盟種目専門部に大会参加費(徴収がある種目)を納入すること。
 - (e) 千葉県中学校新人体育大会及び本大会に関わる各支部予選会、各種目専門部により定め

られた予選会などにおいて、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

(f)地域クラブ活動で千葉県新人に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

(千葉県中学校新人体育大会は1人1種目)

(g)地域クラブ活動同士による合同チームの参加は認めない。

(h)地域クラブ活動の参加は千葉県内の競技団体（協会・連盟）に登録してあるチームとする。また支部からの参加については当該競技団体（協会・連盟）の登録地からとする。

(i)団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする（複数のチームは参加できない）。

(j)地域クラブ活動は、その組織内に各支部小中学校体育連盟および各種目専門部と随時連絡が取れる部門を設置し、責任者を置くこと。

b 千葉県中学校新人体育大会に出場した場合に守るべき条件

(a)千葉県中学校新人体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

(b)千葉県中学校新人体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・指導者が生徒を引率すること。また、万一の事態に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。

c 参加を認めない場合

(a)千葉県中学校新人体育大会参加申し込みに際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

※この特例は令和5年4月1日より適用する。

※この特例は、各競技専門部における大会参加に関する細則を加えることができる。

※この特例は、今後も検討を続けていく。

ウ 柔道競技部細則

a 公益財団法人日本中学校体育連盟（以下、中体連）が定めた「全国中学校体育大会開催基準9引率監督参加資格の特例」に記載されている通りの手続きを行い、遵守する。

b 全国中学校柔道大会（以下、全中大会）や各ブロック及び各都道府県中学校体育連盟柔道競技（専門）部（以下地区中体連）主催大会における地域クラブ活動の参加資格特例条件を次の通りとする。

(a)各都道府県柔道連盟（協会）を通して全柔連に加盟、登録を済ませている。加盟、登録上、届け出をしている所在地の都道府県で参加することができる。

- ・ チームとして「団体登録」を済ませている → 団体戦に出場可
- ・ 競技者として「競技者登録」を済ませている → 個人戦に出場可
- ・ 同一年度中は、最初に参加した所属チームからの変更は認めない。

※ 中学校部活動の場合、転校等による所属の変更について、一部、参加制限がある。

(b)大会の引率、監督、帯同コーチは、全中大会地区中体連主催大会において全柔連公認指導者資格C指導員以上の資格を有していなければならない。

(c)柔道修業期間を6カ月以上経過した中学生のみ、大会に参加することができる。

c 大会の引率、監督権を有している地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の指導者は、大会参加にあたり、各地区中体連が主催する説明会や研修会等に、必ず出席しなければならない。

d 大会参加にあたり、上記参加資格特例条件に対して、虚偽、違反、逸脱行為が発覚した場合は、同一年度の地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）の大会参加資格を取り消し、チーム及び該当所属選手ともに令和6年度内の参加を認めない。

(10) 個人情報の取り扱い（利用目的）

大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、（財）日本中学校体育連盟個人情報保護方針・規定に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表・記録発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

8. 参加制限

(1) 団体戦

- ①団体戦の出場団体数は、各支部2チーム以内とする。ただし、団体戦支部予選参加団体数が10チームを超える支部は1チーム、15チームを超える支部は2チームを加えることができる。
- ②今年度の千葉県総合体育大会柔道大会で優勝・準優勝のチームを出した支部は出場枠に1チームを加えることができる。ただし、重複した場合でも加えることのできる団体数は1チームのみである。
- ③団体戦のチームは1団体単位で編成したチームとする。
- ④男子団体戦の人員は、監督1名・コーチ1名・選手7名以内とする。
- ⑤女子団体戦の人員は、監督1名・コーチ1名・選手4名以内とする。

(2) 個人戦

- ①個人戦は、男子8階級、女子8階級で各階級とも各支部1名以内とする。
- ②今年度の本大会開催支部は、男女各階級とも出場枠に1名を加えることができる。
- ③今年度の千葉県中学校総合体育大会柔道大会で男子はベスト16、女子は44kg級から63kg級まではベスト8、40kg級、70kg級、70kg超級はベスト4に入った選手の所属する支部は出場枠に1名を加えることができる。
- ④同支部の選手が2名以上③を満たす場合は、その人数分だけ加えることができる。

～体重区分は次の通りとする～

<男子>

「50kg級」	→	50kg以下
「55kg級」	→	50kgを超えて55kg以下
「60kg級」	→	55kgを超えて60kg以下
「66kg級」	→	60kgを超えて66kg以下
「73kg級」	→	66kgを超えて73kg以下
「81kg級」	→	73kgを超えて81kg以下
「90kg級」	→	81kgを超えて90kg以下
「90kg超級」	→	90kgを超える

<女子>

「40kg級」	→	40kg以下
「44kg級」	→	40kgを超えて44kg以下
「48kg級」	→	44kgを超えて48kg以下
「52kg級」	→	48kgを超えて52kg以下
「57kg級」	→	52kgを超えて57kg以下
「63kg級」	→	57kgを越えて63kg以下
「70kg級」	→	63kgを超えて70kg以下
「70kg超級」	→	70kgを超える

- (3) 令和6年度千葉県中学校新人体育大会に1人1種目の出場であること。

9. 参加費

男子団体戦 4000円

女子団体戦 3500円

男女個人戦 500円 ※参加費は各団体ごとに受付で支払うこと。

10. 引率者・監督

- (1) 参加生徒の引率・監督は、出場校の校長・教員（非常勤講師は除く）・部活動指導員※1とする。
なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。
(※1→ここでいう部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)
- (2) 引率者・監督は審判員に準じた服装をすること。

11. コーチ

出場団体は監督の他に1名のみコーチとしてベンチに入れることができる。

コーチとは当該団体の監督でない教職員（内部コーチ）・それ以外（外部コーチ）とする。

1校につき1名（他校と兼ねることはできない）を認め、所定の用紙を用いて届け出ること。

※コーチの条件とは次の通りである。

- (1) 当該校の校長が認めた者。
- (2) 年間を通じ、日頃から学校部活動の指導をしている者。

(3) 中体連の大会運営に関して、理解を示し、協力的な者。

(4) 外部コーチは中学校の教員でない者。

(5) 審判員に準じた服装をすること。

※大会運営上支障をきたすと大会本部が判断した場合は、会場より退去させることがある。

※同一団体が男女とも出場権を得ているチームは、それぞれに外部指導者（コーチ）をおくことができる。

12. 計量・柔道衣点検

(1) 計量

①公式計量は時間内計量とし、個人戦については計量の回数は問わない。

団体戦の計量は1回のみとし、再計量は認めない。

②団体戦の公式計量では男子は下穿きのみ、女子はTシャツと下穿きにて計量する。

なお、下着の着用は認めるが、包帯やサポーター等の着用は一切認めない。

③個人戦の公式計量で時間内に体重区分にない者は失格となる。

(2) 柔道衣点検

①柔道衣点検は、設定時間内に大会本部係員が行い、試合出場時に審判員が最終確認を行う。

②全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣・下穿・帯）を着用することが望ましい。
柔道衣は国際柔道試合審判規定及び（少年大会特別規定）に定める材質、大きさであること。

③試合で着用する柔道衣は柔道衣点検で合格したものであること。

点検後に破損などのやむを得ぬ理由で別の柔道衣を着用する場合は、当該試合場の審判員に申告し、柔道衣点検を受けなければならない。

④柔道衣に次に示すゼッケンを縫いつけて出場しなければならない。

I 布地は白色、サイズは縦 25cm～30cm 横 30cm～35cm とする。

II 書体は太字ゴシック体（明朝又は楷書でもよい）とし、男子は黒色、女子は赤色とする。

III 名字（姓）は上側3分の2 学校名は下側3分の1に書く。

IV 縫い付けの場所は後ろ襟から 5cm～10cm、対角線にも強い糸で縫い付ける。

⑤女子は上衣の下に、白色か白に近い色の半袖のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。

※Tシャツのマーキングについては、全日本柔道連盟が定める規定（平成25年4月1日より施行）に準ずる。

⑥柔道衣点検は、試合時に着けるサポーター等を着用して受けること。

⑦柔道衣の胸マーキング等について、所属団体名称もしくは、所属団体を表すエンブレムは、可とする。

13. 競技規則

(1) 国際柔道連盟試合審判規定（2022年4月1日より施行の改正ルール）及び国内における「少年大会特別規定」による。また、全柔連が定める団体戦の勝敗決定事項を含める。

(2) 団体戦内の個々の対戦の判断基準は「技有」「僅差」以上とする。

（「僅差」とは「指導の差が2以上ある状況」を指す。）

(3) 試合時間は団体戦・個人戦とも3分間とする。ただし、ゴールデンスコアは時間無制限とする。

(4) (財)講道館から正式に段位証書が交付されている有段者は黒帯を用いること。

(5) 医師のいない大会においては、安全確保のために主催者の判断で選手を棄権させる場合がある。

【具体的方法】

① 審判、審判委員及び試合場統括は、試合前後及び試合中に「試合を行わせることが危険」と判断する事態が生じた場合、試合を中断する等、選手の行動を制止して本部に報告する。

② 主催者は、柔道整復師とともに選手の様子を観察し、「試合を行わせることが危険」と判断したら、監督を本部に呼び、当該選手を棄権または出場させないことを告げる。

③ 主催者は、棄権を申し渡した後、当該選手が出場する試合場に連絡し、必要な措置を行わせる。

(6) 脳振盪対応について

選手および指導者は下記事項を遵守すること

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。
なお、至急専門医（脳神経科）の精査を受けること。）
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診断を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (7) 皮膚真菌症（トングランス感染症）について、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができないこともある。

14. 競技方法

(1) 団体戦

- ①男女ともトーナメント形式で行う。
- ②2チームの対抗方式は男子1チーム5人、女子1チーム3人による紅白点取り試合で行う。
- ③チームの編成は男女とも大将を重いものとし、順次体重順とする。
- ④選手の交代は補欠で登録した選手との入れ替えとし、入れ替えた場合も体重順とする。
- ⑤オーダーは、変更の有無に関わらず、毎試合ごとに 所定の「オーダー変更届け」に記入、所定の封筒に入れて試合場係に提出すること。
- ⑥一度退いた選手の再出場は認めない。
- ⑦試合の勝敗は次の順によって決定する。
 - ア 勝ちの数より決定する。
 - イ 勝ちの数が同数の時は、内容により決定する。
 - ウ 内容も同数の時は、代表戦を1回行い決定する。
代表戦は任意の選手とし、判定基準は団体戦と同様とするが、3分間の本戦を行い、得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法は個人戦と同様とする。

(2) 個人戦

- ①男女ともトーナメント形式で行う。
 - ②試合時間は3分間とし、延長戦（ゴールデンスコア）は無制限とする。
 - ③優勢勝ち勝敗の判定基準は、「一本」「技有」とする。
得点差が無い場合は延長戦（ゴールデンスコア）により勝敗を決する。
- ※個人戦の勝敗については、団体戦の個々の試合と同じように、本戦において技による得点差がなく、「指導」差2で試合が終了した場合は、僅差による「優勢勝ち」として勝敗を決する。「指導」差1以内の場合は、時間無制限、GSによる延長戦を行う。
GSについては改正ルールを適用せず、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点でその選手が負けとなる。

15. 表彰

以下に挙げる賞典を入賞団体・入賞者に授与する。

- (1) 優勝杯：男女団体戦 優勝団体。（持ち回り。次年度大会まで保管、次年度大会にて返還する。）
- (2) 賞状：男子団体戦 ベスト8までに入賞した団体。
女子団体戦 ベスト8までに入賞した団体。
男女個人戦 第3位までに入賞した選手。
- (3) メダル：男女団体戦 第3位までに入賞した団体の登録選手。
男女個人戦 第3位までに入賞した選手。

16. 参加申込・申し込み方法（①・②の申し込み手続きを行って下さい）

- ①県大会出場団体は、申込書を期限までにeメールにて柔道専門部事務局へ送信すること。
 - ・eメール申し込みは10月15日（火）16時必着分までとする。いかなる理由があっても、期限を過ぎた場合は、本大会への参加は認められないものとする。

〈千葉県小中学校体育連盟柔道専門部事務局 eメール申し込みアドレス〉

chibaken.chugaku.judo@gmail.com

申し込みは10月15日（火）16時必着分 までとする。

- ② 県大会出場団体は、大会当日受付にて個人戦、団体戦の申込書・コーチ申請書（職印を捺印したものを）を提出すること。

※申込書は、

千葉県小中体連柔道専門部のホームページ <http://chibaken-chugaku-u-judo.com/> 「大会情報」から、ダウンロード して使用してください。

※作成したデータはファイル名に「所属名」を入力し、「添付ファイル」にして送信すること

※メールを送信する際、「件名」にも必ず所属名を入力すること。

17. 各支部長

各支部長は、支部報告書（個人戦出場者、団体戦出場団体一覧）を作成し、期日までに千葉県小中学校体育連盟柔道専門部事務局に必ずメールで送信して下さい。

締 切 期 日 令和6年10月15日（火）16時00分

18. 諸会議

- (1) 専門部会議 10月18日（金）14時30分～ 成田市立西中学校
(2) 審判・監督会議（個人戦）10月26日（土）8時30分～ 城西国際大学1F会議室
(3) 審判・監督会議（団体戦）11月30日（土）9時40分～ 千葉県武道館第1道場

19. その他

(1) 選手・監督・コーチの変更について

① 団体戦

ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で選手変更を必要とする場合、所定の登録選手変更届（様式1）に必要事項を記入の上、大会事務局にメールで提出すること。

イ アによる変更届は大会前日の正午までを〆切とする。以降の変更は認めない。

（組合せ抽選以降の変更は、プログラム記載の変更はできない）。

ウ 試合当日は、登録選手の交替のみとし、体重順に編成替えをすること。

② 個人戦

ア 大会申込書提出後、選手の病気・負傷等で出場できなくなった場合、出場を辞退する選手の学校及び地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は、所定の辞退届（様式2）を大会事務局にメールで提出すること（当該支部長の推薦により、替わりの選手を出場させることができる）。

イ 替わりの選手を出場させる場合、当該支部長は、大会前日の正午までに、所定の変更届（様式3）辞退届を大会事務局にメールで提出すること。それ以後は一切受け付けない。

③ 監督・コーチ

大会申込書提出後、諸事情により監督・外部指導者（コーチ）を変更する場合、当該学校及び地域スポーツ団体等（地域クラブ活動）は、所定の監督・外部指導者（コーチ）変更届（様式4）を大会事務局にメールで提出すること。

(2) 練習会場

大道場を練習会場として解放する。

練習会場に荷物などは放置しないこと。

施設内の通路など、利用者の活動や移動の妨げになる場所での練習等は一切禁止する。

(3) IDカード

①来賓、役員、大会参加申込書に記載された監督・コーチにIDカードを貸与する。

②監督・コーチはベンチに入る際は必ずIDカードを身につけること。

- ③ベンチに入れる者は選手とIDカードをつけた監督・コーチのみとする。
- ④IDカードを登録者以外に貸与することを禁ずる。
もし、不正が発覚した場合は厳重に処分する。
- ⑤IDカードは大会終了後、直ちに回収ボックスまたは本部席へ返却すること。
- ⑥複数の顧問・コーチがいる場合でもIDカードをつけられるのは大会申込書に記載のあった者のみとする。大会申込書に記載のない場合はベンチに入ることができない。

(4) オーダー用紙の作成及び提出

模造紙1/4の大きさに、下記の要領でオーダー用紙を作成し、大会当日、計量時に提出すること。

先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	学 校 名
----	----	----	----	----	-------------

【 男子 】

先鋒		中堅		大将	学 校 名
----	--	----	--	----	-------------

【 女子 】

(5) 式典（個人戦開会式・団体戦開会式・個人戦表彰式・団体戦表彰式・閉会式）について

- ①式典はプログラム掲載の次第に沿って挙げる。
- ②個人戦開会式には、個人戦出場選手全員が試合時の服装で参加すること。
- ③団体戦開会式には、団体戦出場校登録選手全員が試合時の服装で参加すること。
- ④個人戦表彰式には、男女ともベスト4に進出した選手が試合時の服装で参加すること。
- ⑤団体戦表彰式・閉会式には、男子団体戦ベスト8・女子団体戦ベスト8進出団体が試合時の服装で参加すること。
- ⑥個人戦開会式における選手宣誓は、今大会開催支部の代表選手がこれを行う。
- ⑦団体戦開会式における賞典（男子優勝杯・女子優勝杯）の返還は、前年度優勝団体の代表選手がこれを行う。

(6) 大会中の負傷・疾病について

- ①救護役員（千葉県柔道連盟医事部・千葉県接骨師会・養護教諭）は応急手当のみ行う。
- ②本大会は独立行政法人日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。
- ③参加者は健康保険証（またはコピー）を持参することが望ましい。
- ④引率顧問は生徒の体調管理、疾病・負傷等の把握、大会参加についての指導を行うこと。

(7) 次年度 千葉県中学校総合体育大会柔道大会への出場増枠について

(ア) 男子個人戦

- ・今大会でベスト16に入った選手が所属する支部は、次年度の千葉県中学校総合体育大会柔道大会の当該階級出場枠に1名を加えることができる。
- ・同支部の選手が2名以上ベスト16に入った場合は、その人数分だけ加えることができる。

(イ) 女子個人戦

- ・44kg級から63kg級は今大会でベスト8に入った選手が所属する支部は、次年度の千葉県中学校総合体育大会柔道大会の当該階級出場枠に1名を加えることができる。
- ・40kg級、70kg級、70kg超級は今大会でベスト4に入った選手が所属する支部は、次年度の千葉県中学校総合体育大会柔道大会の当該階級出場枠に1名を加えることができる。
- ・同支部の選手が2名以上ベスト8（40kg級、70kg級、70kg超級はベスト4）に入った場合は、その人数分だけ加えることができる。

(8) 下足（外履き）について

当日は下足については下足置き場に置かず、来場者が袋を用意して観覧席で保管すること。

(9) 役員の集合時刻円滑な大会運営のため、時間厳守でお集まりください。

10 / 26 (土)	専門部会議で指示・・・本部役員、駐車場係、警備係 専門部会議で指示・・・市原支部 (会場設営のため) 専門部会議で指示・・・受付係、計量係、柔道衣検査係、 専門部会議で指示・・・会場責任者 (補助役員)、式典係 7 : 00 集合・・・上記以外の役員・係員 8 : 20 集合・・・審判員 (審判会議 8 : 30 開始)
11 / 30 (土)	専門部会議で指示・・・本部役員、駐車場係、警備係 専門部会議で指示・・・市原支部 (会場整備のため) 専門部会議で指示・・・受付係、計量係、柔道衣検査係、 専門部会議で指示・・・会場責任者 (補助役員)、式典係 8 : 00 集合・・・上記以外の役員・係員 9 : 30 集合・・・審判員 (審判会議 9 : 40 開始)

20. 連絡先

(1) 大会開催前

千葉県小中学校体育連盟柔道専門部 委員長 風間 孝幸
〒 286 -0036 千葉県成田市加良部 5-11-11 成田市立西中学校
TEL 0476- 26 -2606 FAX 0470 - 20- 6411

(2) 大会期間中 → 大会会場 本部

※ 大会会場 (城西国際大学・千葉県武道館) への大会運営に関する問い合わせは、施設業務への支障になりますのでご遠慮ください。